

# News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和4年6月

日中は汗ばむくらいの初夏の陽気が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
さっそく Newsletter 第51回配信です！どうぞお楽しみください。

## 〈診療科紹介 泌尿器科〉

学生のみなさん、こんにちは。今月は泌尿器科の魅力について語ります。

医学生の中から『泌尿器科医師になる』と思う人はあまりいません。手術がしたいけど内科治療もしたい、なんとなくマイナー外科がいい、と漠然と思っていた方が初期研修で泌尿器科を選択してその魅力に気づきます。

泌尿器科は腎臓、副腎、膀胱、前立腺、精巣など多くの臓器を扱います。それゆえに、悪性腫瘍、排尿障害、尿路結石、男性不妊、女性泌尿器、小児泌尿器、腎移植など扱う疾患も多く、本当に何でも治療できます。その割に泌尿器科医師は少ないため、どこにいてもスペシャリティとして重宝され、大変にやりがいのある分野です。泌尿器科医になって後悔した人は見たことがありません。

泌尿器科といえばロボット手術です。泌尿器科はロボット手術の導入が早く、前立腺、膀胱、腎など大手術をロボット手術で行えます。自治医大はダヴィンチを2台保有し、症例が多く卒後4年目からロボット手術の執刀が可能です。ロボット手術をやりたい、という皆様の期待には必ずお答えします。

また、女性医師が活躍するフィールドも泌尿器科にはあります。女性泌尿器科医師が増えていることを実感していませんか？腹腔鏡、ロボット手術の執刀はもちろんのこと、女性患者さんも多いため患者さんからの信頼を集めています。どこにいても泌尿器科は仲間意識が強くお互いを助け合いカバーしているために、育児をしながらの勤務も可能です。自治医大は様々な出身大学の医局員が目標に向かい、臨床、研究、教育に取り組んでいます。

また、自治医大は全国的にも珍しい成人泌尿器、小児泌尿器、腎臓外科の3部門から成り立っており、各部門のスペシャリストが揃っているので質の高い研修が受けられます。

心よりお待ちしております。



## 【医師国家試験予想問題】

【問題 1】疾患と治療の関係で正しいのはどれか。

- a. 間質性膀胱炎 — 膀胱水圧拡張術
- b. 完全子宮脱 — TVT 手術
- c. 膀胱上皮内癌 — ボツリヌス膀胱注入療法
- d. 過活動膀胱 — 人工尿道括約筋（AMS800）
- e. 膀胱尿管逆流症 — BCG 膀胱内注入療法

### 解説

- a. 膀胱内に生理食塩水を注入し、膀胱を拡張させる膀胱水圧拡張術が間質性膀胱炎の診断および治療に用いられる。
- b. 完全子宮脱は保存的療法以外に、腹腔鏡やロボットを用いた膣仙骨固定術、TVM 手術が行われる。TVT 手術は腹圧性尿失禁の術式。
- c. 膀胱上皮内癌（CIS）に対する治療は BCG 膀胱内注入療法である。ボツリヌス膀胱注入療法は難治性の過活動膀胱や神経因性膀胱の尿失禁に適応がある。
- d. 過活動膀胱には抗コリン剤や $\beta 3$  受容体作動薬などの薬物療法に加え、難治性の場合にはボツリヌス膀胱内注入療法や仙骨神経刺激療法が行われる。人工尿道括約筋は前立腺全摘後など尿道括約筋機能低下に伴う尿失禁に対して適応がある。
- e. 膀胱尿管逆流症に対してはデフラックスの粘膜下投与や外科的手術が行われる。BCG 膀胱内注入療法は膀胱上皮内癌や中・高リスク筋層非浸潤癌が適応となる。

解答：a

【問題 2】59 歳男性。検診で 36mm 大の左腎腫瘍を指摘されて紹介となった。造影 CT を下記に示す。腎臓以外の所見を認めない。この疾患に対する適切な治療を 2 つ選べ。

- a. 凍結療法
- b. 小線源療法
- c. 腎部分切除術
- d. 化学療法併用の放射線治療
- e. 免疫チェックポイント阻害剤



### 解説

40mm 以下の小径腎細胞癌に対する標準治療は腎部分切除術である。ただし、重篤な合併症で手術適応外などの場合には凍結療法やアブレーション治療が適応となります。小線源療法は前立腺癌の治療。腎癌は抗がん剤も放射線も治療効果がありません。免疫チェックポイント阻害剤は転移性腎細胞癌に対する治療です。

解答：a、c